Performance in Fiscal 2016

社会への取り組み

Action Plan No.10

持続可能な社会・環境に貢献する

日本化薬グループは地域社会の活動に参加し、次世代を担う子どもたちの教育支援やステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを活発に行い、地域に根付いた会社を目指しています。

ピンクリボン活動

日本化薬グループでは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるピンクリボン活動を2004年度から独自に開始し、2016年度で13年目となりました。

オリジナルキャラクター「Kayami」を作成し、毎年10月のピンクリボン活動月間ではオリジナルキャンペーングッズの街頭配布を行っています。この活動は社員が参加して行っており、全社一丸となってピンクリボン活動に取り組んでいます。

日本化薬グループピンクリボン活動
オリジナル キャラクター「Kayami」

TOPICS

Kayaku Safety Systems de Mexico, S.A. de C.V.(KSM)でのピンクリボン活動

KSMは、メキシコにある自動車安全部品を製造しているグループ会社で、女性が社員の約半数を占めています。2016年10月に2回目のピンクリボン活動を行いました。

初めに社内の各種メディア(門や社内でのポスター掲示、食堂内のTV、グッズの作成等)を利用してピンクリボン活動について従業員へ伝えました。そして、月例トレーニングでは女性だけでなくすべての男性社員にも教育を実施しました。

トレーニングでは、自分で乳がんを見つける方法やこの知識を家族や友人に伝える方法について教育を行い、トレーニング終了後にピンクリボンのキャンペーングッズ(ペン・腕輪・キャンディー)セットを社員全員に配布しました。

原安三郎コレクション『広重』開催

福山市市制施行100周年記念協賛・日本化薬株式会社創立100周年記念協賛

日本化薬は創立当時より広島県福山市に工場があり、福山市とともに歩んできました。この度、福山市市制施行100周年と日本化薬創立100周年を記念して、原安三郎コレクション※『広重』をふくやま美術館において開催しました。

日本化薬三代目社長の原安三郎が蒐集した浮世絵のうち約230点を展示し、2万人を超える多くの地元の方々にご来場いただきました。初摺りで状態の良い浮世絵を間近でご覧いただき、浮世絵という文化に触れていただく機会をつくることができました。

同様の浮世絵展は、日本化薬の工場や支社、グループ会社が所在する地域の5カ所の美術館等で開催しました。

※原安三郎コレクション：三代目社長の原安三郎は昭和のはじめ、版画、肉筆の浮世絵、水墨画、さらに書に至るまでコレクションしました。版画浮世絵は広重・北斎などの風景画が主ですが、いわゆる「揃い物」が丹念に蒐集されていることが特徴といわれています。

WEB ウェブコンテンツのご紹介

「リウマチら・ら・ら」
リウマチ患者さまのための情報提供サイトとして公開しています。

あすなろの家
難病とたたかう子どもと家族のため介護者用滞在施設を運営しています。

地域との関わり
工場祭などを通して地域の皆さまとのコミュニケーションに努めています。

教育CSRへの取り組み

日本化薬は、未来を担う子どもたちに化学の面白さを少しでも理解していただけるよう教育CSRとして、「夏休み子ども化学実験ショー(「夢・化学-21」委員会主催)」、「イベント型の実験教室」、「出張授業」の3テーマに取り組んでいます。

イベント型の実験教室は、2016年創立100周年記念事業の一環として、各事業場の工場祭などで開催しています。(厚狭、高崎、姫路、鹿島、(株)日本化薬福山、(株)日本化薬東京)

今後は、各事業場の近隣小学校を対象に“理科への興味・関心を高めよう”と独自に開発した教育プログラムを使って、「出張授業」を2017年度に行う予定です。

TOPICS

高崎工場での次世代育成の取り組み

創立100周年記念事業として、高崎工場近隣の岩鼻小学校6年生2クラス55名、教諭4名、合計59名を招いて化学実験教室と工場見学を開催しました。

化学実験教室では、『ワクワク製剤体験!〜しゅわしゅわ“タブレット”を作ろう〜』と題し、水に入れると発泡し色が変わるタブレット作りを通して、医薬品の剤型としてなじみの深い錠剤の製造工程を楽しみながら体験していただきました。小学生たちのタブレット作りに真剣な姿や上手にできた時の無邪気な笑顔を見ることができ、最初は不安な表情をしていたスタッフたちも最後は皆達成感と満足感を味わうことができました。

また、工場見学では、注射剤の製造・包装ラインなど、医薬品ができあがるまでの一連の製造工程を見ていただきました。後日、参加された生徒さん一人ひとりからお礼のお手紙が届き、多数の方が「化学が好きになりました」という感想が添えられ、当社におけるCSR活動の意義をあらためて認識しました。

今後も、近隣の子どもたちに化学の面白さを理解してもらえるような活動を通し、高崎工場と地域社会との交流を継続していきます。